

附属特別支援学校だより（1月号）

にっこり笑顔

発行：校長 菅 昌徳



新年あけまして

おめでとうございます



3学期のスタート（始業式）

1月10日（火）3学期の始業式をおこないました。2学期の終業式は突然の予定変更で1日早い終業式になり、子供たちも少し戸惑いながらの冬休みとなってしまいました。しかし、今日の始業式にはみんな元気に「おはようございます」、「新年あけましておめでとうございます」と私の顔を見て挨拶をしてくれました。休み明けの子供たちの顔は、みんな晴れやかで、「校長先生、冬休み楽しかったよ」と言わんばかりの笑顔でした。

休み中も新型コロナウイルスの感染はとどまるどころか、これまでにない感染者数を知らせる毎日だっただけに、ほとんどの児童生徒が始業式に登校できたことをとてもうれしく思えました。

今日から3学期が始まります。今学期はとても短い学期です。昔から「1月はいく月、2月は逃げ月、3月は去る月」と言われます。お正月や節分、節句などの催しがあり、時間がたつのが早いことをたとえたものです。学校においても、たくさんの行事や活動が待っています。限られた時間を有効に使いながら、まとめの学期として、それぞれがこれまで取り組んで身に付けたことを存分に発揮し、学年初めに立てた目標の達成に向けて励んでください。

「思いを大切に自分から何事もやり抜く」 を大切にしてほしいと思います

始業式では、各学部代表が3学期の目標などを発表してくれました。ここでは、9日の成人の日に18歳の成人を迎えた高等部3年生代表の言葉を紹介します。

高等部3年生の 3学期の テーマは 「感謝」 です。
ぼくたちには、「ありがとう」を 伝えたい人が たくさんいます。
家族、友だち、先生、デイサービスの人たちなど、今まで出会ったすべての人たちです。
3学期は、悔いが残らないように、みんなと勉強できる毎日を楽しみます。
18歳の大人として、まだまだ成長していきます。
そして、楽しい最高の思い出を作りたいと思います。
後輩のみなさん、
ぼくたちが一生懸命がんばるところと全力で楽しむところを見ていてください。

これからの人生における目標のように感じました。教師として、社会人の先輩として「18歳、成人の誓い」として受け止め、寄り添いながら彼らが社会に巣立つための支援をしていきたいと感じました。